

ピアスの穴あけについての同意書

ピアスの穴あけをすることにより起こりえる、下記の合併症 ・ 後遺症につきましては、「医療過誤」とはなり得ませんのでご了承ください。

- ケロイド体質の方などは、ピアスの周囲の皮膚が赤く盛り上がる場合があります。
 - 体質によっては、ピアスの周辺にしこりができる場合があります。
 - ピアスを留めているキャッチを強くしめすぎると、ピアスあるいはキャッチが皮膚の中に埋まってしまう場合があります。
 - 耳の形には左右差があるため、ピアスホールの位置に多少のずれが生じる可能性があります。
 - ピアスの穴をあけた後に出血することがあります。また、ピアスをつけている間は、常に感染の可能性がります。
- 施術当日は、入浴時そのままシャワーをかける程度にし、翌日以降は入浴時にピアスを前後にゆっくり動かしながらシャワーをかけてください。
- ピアスの穴をあけることにより炎症症状や化膿をおこすことがあります。そのような症状がみられた場合、ピアスは外さずに受診してください。（消毒薬は使用しないでください。消毒薬でかえってかぶれる可能性があります。）
 - ピアスホールが完成するまで、1～1ヶ月半はかかります。その間にピアスが外れてしまうと穴が塞がる場合があります。
- 1ヶ月半後のセカンドピアスへの交換が不安の際は、セカンドピアスご持参のうえ、受診してください。
- 感染等のトラブルが発生した場合、治療には別途料金が発生します。

.....

ピアスの穴あけを行った場合について、十分に内容を理解しました。
その上で、自己の責任において施術を受けることに同意いたします。

平成 年 月 日

氏名 _____

保護者氏名（未成年の場合） _____